

市町村名	宮古島市							
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦	新城海岸環境整備事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ			
			観光客の受入体制の整備					
担当部課名	観光商工部観光商工課	事業実施 （予定）年度	平成28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）			
事業内容	海岸利用者の利便性向上のためトイレ・更衣室・駐車場を整備する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度（32年度）							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）							
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）			28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	31年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	54,735	－				
		(b) 予算現額	54,735	－				
		(c) 増減額 (b-a)	0	－				
		(d) 繰越額	－	54,735				
		A. 計 (b+d)	54,735	54,735				
	B. 執行済額		0	54,274				
	うち交付金充当額		0	43,419				
	次年度繰越額		54,735	0				
	執行率（％）(B/A)		0.0%	99.2%				
	予算の状況の説明		執行率が99%を超えておりトイレ施設整備工事及び工事管理委託について適正な執行ができています。 繰り越しの理由は、施設建設地の保安林指定解除に係る手続きに不測の日数を要し、年度内の完了が困難となった 為である。					
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況					
				28年度	29年度	30年度	31年度	
	トイレ整備	目 標	（ 51.82㎡ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	55.72㎡					
	駐車場整備	目 標	（ 868㎡ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	770.59㎡					
	更衣室整備	目 標	（ 10.4㎡ ）	（ ）	（ ）	（ ）		
		実 績	10.4㎡					
	達成 状況 説明	目標値と実績値の違いは現況に合わせて工事を行った結果であり、活動目標は達成できていると考えられる。						
	成果目標 （指標） 及び進捗状況	H28成果目標（指標）			基準値 （ 年度 ）	28年度	29年度	30年度
トイレ・更衣室、駐車場整備工事の完了		目 標	（ ）	（ 工事完了 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績		工事完了				
【H32成果目標】 観光客の利便性向上が図られたか（80% 以上）を含め、アンケートにより、本事業の あり方について検証する。		目 標					80%	
進捗 状況 説明		当初の予定通り工事完了した						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	新城海岸は、シュノーケルスポットとして人気が高く、多くの観光客が訪れている。しかし、当海岸は島の東側に位置し、観光客の宿泊するホテルが多い中心市街地や南岸地域から離れている。観光客の満足度を向上させる為にはシャワー設備が必要であるが、トイレ施設まで給水設備が整備されてないため、シャワー設備が整備できてない。	給水設備を整備しシャワー設備ができるようにする。
今後の取り組み方針		
シャワー設置に向け、給水工事を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
		54,274	54,274	

宮古島市
54, 274千円

委託費
1, 097千円

都一級建築設計事務所
1, 097千円

新城海岸トイレ施設整備工事監理業務

工事請負費
53, 177千円

三成技建
23, 043千円

新城海岸トイレ施設整備工事(機械・電気)

太平建設
30, 134千円

新城海岸トイレ施設整備工事(建築・外構)

資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は462千円であり、適正な規模であったと考えている。 ○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		宮古島市					
平成２８年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	宮古島オリジナルMICE促進事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（12）－ア		
					観光リゾート産業の振興		
担当部課名	観光商工部 交流推進課	事業実施 （予定）年度	平成28～30年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ－1－（1）		
事業内容	平成29年4月供用開始予定のドーム型施設の有効活用を図るため、MICE事業の一環であるインセンティブ（企業報奨・研修旅行）とイベント（文化音楽・産業・生涯スポーツイベント・展示会等）に特化した企画立案に取り組み、誘致活動を観光業界と連携して首都圏の企業やイベント主催者を対象に誘致活動を実施する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度（ 年度）						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋ 「市町村負担」 ベース）	予算 の 状 況		28年度	28年度（繰越）	29年度	30年度	31年度
		(a) 当初予算額	9,367	－			
		(b) 予算現額	94,587	－			
		(c) 増減額（b-a）	85,220	－			
		(d) 繰越額	－	34,773			
	A. 計（b+d）	94,587	34,773				
	B. 執行済額	59,814	34,773				
	うち交付金充当額	47,851	27,818				
	次年度繰越額	34,773	0				
	執行率（％）（B/A）	63.2%	100.0%				
予算の状況の説明	繰越額32,724千円は、本事業で整備するスポーツコートとセットで下に敷くベニヤ資材を沖縄の気候条件に合わせ檜使用を選定しているが、需要が少ない檜24mm厚は在庫がないので受注生産となること、また、木材不足により住宅メーカーが資材を押さえているため、年度内納期が困難となったことによる。 繰越額2,049千円は本事業で整備するアリーナ用の音響機材及び映像機器について、施設内の音の反響状況や明るさに応じた実際に施設内でテストし選定に時間を要したため、年度内納入が困難となったことによる。予算増額の理由は、企業研修など、さらなるMICE誘致活動の促進に向け、受入体制の強化を図るため、備品購入費が必要となったため。						
活動目標 （指標） 及び達成状況	H28活動目標（指標）		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	31年度	
	①MICEドーム活用検討委員会	目 標	（ 2回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	2回				
	②MICE人材育成講座	目 標	（ 2回 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	1回				
	③MICE・ドームキーパーソン招聘	目 標	（ 10名 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	16名				
	④宮古島オリジナルMICEメニュー開発	目 標	（ 開発 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	開発済み				
	⑤PR映像制作	目 標	（ 制作 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	制作済み				
	⑥MICE・ドームに関するイベント誘致	目 標	（ 実施 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	実施済み				
	⑦MICE・ドーム活用備品購入	目 標	（ 購入 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	購入済み				
	達成状況説明	ドーム型施設の有効活用を図る為、施設のPRを兼ねた誘致活動や招聘活動は概ね達成できた。一部の備品が年度内の納品が困難となり繰り越しはあったが全体的には、予定通りの事業執行ができた。					

H28成果目標(指標)			基準値 (年度)	28年度	29年度	30年度	目標値 (30年度)
成果目標 (指標) 及び進捗状況	①MICEドーム活用検討委員会2回開催	目 標	()	(2回)	()	()	()
		実 績		2回			
	②MICE人材育成講座2回開催	目 標	()	(2回)	()	()	()
		実 績		1回			
	③キーパーソン10名招聘	目 標	()	(10名)	()	()	()
		実 績		16名			
	④⑤⑥ソフトメニューとPR映像を活用したイベント誘致活動実施	目 標	()	(実施)	()	()	()
		実 績		実施済み			
	⑦MICE事業の推進に向けた必要備品整備完了	目 標	()	(完了)	()	()	()
		実 績		完了			
	【H30成果目標】 イベント、企業研修等誘致件数 12件以上	目 標					12件
	進 捗 状 況 説 明	招聘・誘致活動を重点的に時間をかけて実施したために人材育成講座の開催が少なくなり目標を下回った。誘致活動は県内で9回、県外で12回実施した。					

取組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成29年度の施設の供用開始に向け、今年度の取組みを活かしたイベント開催やインセンティブの誘致活動を幅広く実施していくためにもMICEを専門としている事業所のサポートを受ける必要がある。	MICEを専門とする事業所が持つネットワークを活用し、専門的なサポートを受けながらMICE誘致に関する知識をつけることで誘致活動の継続へ繋げていく。
今後の取り組み方針		
今年度の取り組みにより購入した備品、開発したMICEメニュー、PR映像を有効的に活用していけるMICEに関して専門的知識を持った事業所を公募し、専門的なサポートを受けながら誘致活動を行う。		

